

そよかぜ通信

第302号

発行

2025年8月

社会福祉法人 調布市社会福祉事業団

調布市知的障害者援護施設そよかぜ 施設通信

〒182-0032 調布市西町290-4

TEL 042-481-7663

FAX 042-481-7074

URL <http://jigyodan-chofu.com/soyokaze/>

ホームページではカラーで掲載しております。是非ご覧下さい。



涼風

今年もそよかぜに夏がきました！



玄関を出たら、涼めるかも？



熱中症予防対策として
昨年度導入したミスト
が今年の夏から稼働中！
雨？とびっくりしながらも
しみわたる霧にほっと
一息です。

今年も実習生を受け入れています！



運動やウェルネスで、若い力をかりて楽しく身体を動かそう！

バス喫茶
マクドナルドで
ひと涼み：



そよかぜとはこんなところ



そよかぜは、知的に障がいのある18才以上の人人が自宅やグループホームから平日の日中に通所し、午前は織物、陶芸等の作業、午後は運動や学習、クラブ活動などの各種の活動をして、地域で地域の社会資源を使いながら生活を送る為の通所施設です。



職員リレー企画♪明日は明日の風が吹く？！

夏山シーズン到来



毎日厳しい暑さが続いているが、いかがお過ごしでしょうか。支援員2年目の中尾です。日本の夏は年々早まり厳しさが増していますが、登山が趣味の私にとっては「待ってました♪」の季節到来です。私が登山を始めたきっかけは夫婦で訪れた富山県の立山・室堂平のトレッキングでした。ケーブルカーやバスを乗り継ぎ簡単に標高2,450mまで連れて行ってくれます。そこには大きなリュックを背負った登山者たちが、立山や剣岳の山頂を目指して通り過ぎていきます。単純に「かっこいい」と思った私たち夫婦は、翌年に立山登頂をしました。標高3,000mを超えた景色は格別でした。



ひとり息子を立派な山男に育てよう狙っていた私ですが、息子は知的障害のある自閉症児として誕生しました。山どころか普通の生活も送れないでは？と泣いた日々もありました。

(たくさん泣きました…)

人間はたくましいもので、簡単には諦めない母がいました。大声を出す息子に山小屋は無理だけど日帰り登山なら出来るかも・・・と。途中で歩かないことも想定して背負子（おんぶ紐のようなもの）で背負ったり。そして親子登山がスタートしました。息子は不満そうです。休日には電車を観に行ったり公園に行ったりと希望を叶えているので、これだけは親に付き合ってもらっています（笑）

そよかぜの皆さんと様々な活動をご一緒していますが、いつか高尾山にも行ってみたいと密かにチャンスを狙っています♪

